

タイトル	MICE の英語教育への導入について : 新しい観光英語の可能性
著者	上野, 之江; 尾田, 智彦; 森越, 京子; UENO, Yukie; ODA, Tomohiko; MORIKOSHI, Kyoko
引用	北海学園大学学園論集(162): 21-42
発行日	2014-12-25

MICE の英語教育への導入について

—— 新しい観光英語の可能性¹⁾ ——

上 野 之 江
尾 田 智 彦
森 越 京 子

Japan has been taking active measures to promote tourism in order to revitalize its economy and community. Along with tourism, the importance of MICE, which stands for Meeting, Incentive, Convention & Event/Exhibition, has been discussed among government officials and industry professionals. Including MICE in English language teaching materials is worthwhile because both language skills and communication skills are critical for MICE business. MICE business-people need to write a bid paper and it needs to persuade its readers. This paper describes the rationales why MICE is vital in university English classes and also shows authentic original teaching materials extracted from MICE websites and the teaching materials that the authors made.

1. はじめに

日本への外国人観光客の増加とともに、国際会議や国際イベント誘致に対する関心が高まっている。記憶に新しいところでは、2013年にブエノスアイレスで行われた東京オリンピック・パラリンピックの開催誘致プレゼンテーションである。北海道では、2008年夏の北海道洞爺湖サミットなどがある。最近では、札幌市が2026年の冬季オリンピック・パラリンピック招致を正式表明した。このような国際会議、イベント誘致に係るビジネスを総称してMICEという。MICEはその概念やトピックを従来の観光英語に加味することにより、英語クラスに新しい可能性を吹き込む要素を秘めている。

この論文の目的は1) MICEとは何か、その背景、2) 大学英語教育に導入する時にどのような教材があるのか、3) どのようなものがオーセンティックな教材として利用できるのか、4) MICEの英語クラスへの導入には、どのような利点があるのかを探り考察することである。

2. 背景

2.1. MICE への関心の高まり

MICE とは、企業等の会議 (Meeting)、企業などの報奨・研修旅行 (Incentive Travel)、各種団体の大会・会議や学会、コンベンション (Convention)、見本市やイベント・展示会 (Event/Exhibition) の頭文字を取った用語であり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称である (図1)。MICE イベントの開催は、その国及び地域に対し、1) 高い経済効果、2) ビジネス機会やイノベーションの創出、3) 都市の競争力・ブランド力向上等の効果が期待される (観光庁, 2013a)。つまりそこには、MICE 推進による地域産業の活性化と国際化への期待がこめられている。MICE による国際会議、イベント誘致により、イベント会場、ホテル業界、レストランなどのフードサービス、飲食業界、観光産業などそれに関わる様々な業界が活性化され、MICE 誘致は海外からの参加者に関わることから、地域の国際化にもつながる。MICE は関わる産業が多方面に渡るので、観光ツーリズム産業よりも経済的に効果が大きいと言われている。

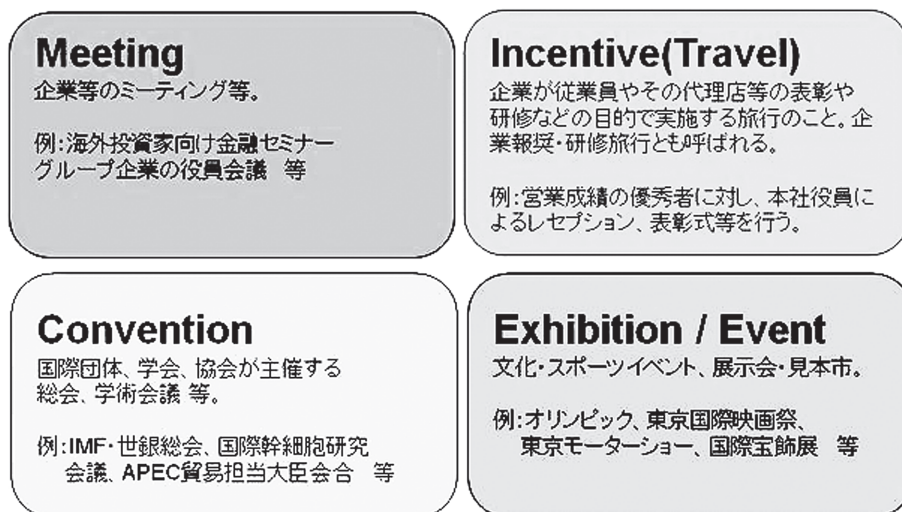


図1 MICE とは (観光庁「MICE の開催・誘致の推進」
<http://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kokusai/mice.html>)

そのような背景のもと、多くの国や地域が MICE イベントの誘致にますます力を入れている。表1は、International Congress and Convention Association²⁾ (国際会議協会, 以下 ICCE) の統計を基に、世界の国や地域における、2011年から2013年までの国際会議数を比較したものである。世界的に見れば、北米およびヨーロッパの国々での会議開催が未だ圧倒的に多い。アジア太平洋地域では、日本がかるうじて優位を保っているようにも見えるが、オーストラリア、韓国、中国なども奮闘している。実際、観光庁(2013b)は、「『韓国、シンガポール、マレーシアも MICE

表1 *The Number of International Conferences Worldwide Rankings*

Rank	Country	# Meetings 2011	Country	# Meetings 2012	Country	# Meetings 2013
1	U.S.A.	759	U.S.A.	833	U.S.A.	829
2	Germany	577	Germany	649	Germany	722
3	Spain	463	Spain	550	Spain	562
4	United Kingdom	434	United Kingdom	477	France	527
5	France	428	France	469	United Kingdom	525
6	Italy	363	Italy	390	Italy	447
7	Brazil	304	Brazil	360	Japan	342
8	China-R.P.	302	Japan	341	China-R.P.	340
9	Netherlands	291	Netherlands	315	Brazil	315
10	Austria	267	China-R.P.	311	Netherlands	302
11	Canada	255	Austria	278	Canada	290
12	Switzerland	240	Canada	273	Republic of Korea	260
13	Japan	233	Australia	253	Portugal	249
14	Portugal	228	Switzerland	241	Austria	244
15	Republic of Korea	207	Sweden	233	Sweden	238
16	Australia	204	Republic of Korea	229	Australia	231
17	Sweden	195	Portugal	213	Argentina	223
18	Argentina	186	Argentina	202	Turkey	221
19	Belgium	179	Belgium	194	Belgium	214
20	Mexico	175	Denmark	185	Switzerland	205

ICCA Statistics Report 2011, 2012, 2013

(<http://www.iccaworld.com/newsarchives/archivedetails.cfm?id=3052>,

<http://www.iccaworld.com/newsarchives/archivedetails.cfm?id=3541>,

<http://www.iccaworld.com/dcps/doc.cfm?docid=1696>, 2014年12月10日アクセス)

への投資を拡大しており、日本との差は開きつつある』という、我が国に対する厳しいコメントも多く聞かれており、このままでは MICE 分野におけるアジアの主要国としての日本の地位は失われるおそれすらある。」として、日本の置かれている状況への危機感を表明している。

これまで日本においても、国土交通省などが中心となった 2003 年以降の「ビジット・ジャパン」キャンペーンをはじめ、2007 年に「観光立国推進基本計画」を策定し、2011 年までに国際会議の開催件数を 5 割以上増やし、アジアにおける最大の国際会議開催国となることを目標に掲げて国際会議の誘致・開催に対して積極的な取り組みを行ってきた。図 2 は、ICCE の統計に基づく、日本における 2004 年から 2013 年までの国際会議数の変遷を示す。これによると、日本が 2007 年頃から国際会議誘致に積極的に取り組んで、東日本大震災および原発事故の発生した 2011 年を除き、徐々に国際会議数を増やしているのがわかる。

日本の各都道府県等でも国際会議誘致に対応するために、コンベンション・センターの整備、創設がすでに行われている。札幌市では、公益財団法人札幌国際プラザが札幌コンベンション・ビューローを統括、運営している。その活動は単なる施設の運営だけではなく、日英のホームページ、国際会議・イベント誘致に及ぶ。また札幌市は 2012 年に「札幌 MICE 総合戦略」を策定し、

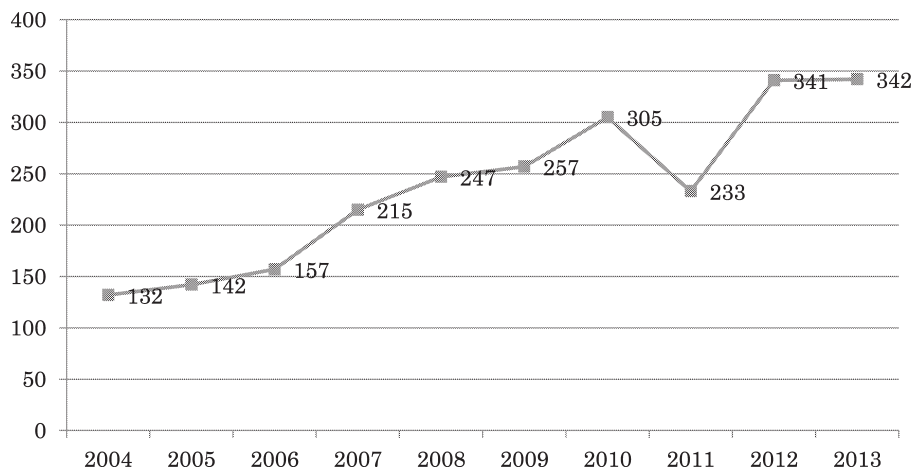


図2 日本における国際会議数の変遷 (ICCA Statistics Report 2002-2011, 2012, 2013
<http://www.iccaworld.com/newsarchives/archivedetails.cfm?id=3195>,
<http://www.iccaworld.com/newsarchives/archivedetails.cfm?id=3541>,
<http://www.iccaworld.com/dcps/doc.cfm?docid=1696>, 2014年12月10日アクセス)

札幌における MICE の現状分析, 課題, 目指すべき方向性, そして広範囲な施策に関する提言を行っている (札幌市, 2012)。具体的な動きとしては, 2014 年 3 月 17 日の朝日新聞朝刊に「コンベンション・イベント MICE 都市札幌」として MICE 誘致に取り組む一面全面広告を掲載し, 一般市民に対する啓発活動を行っている。2026 年の冬季オリンピック・パラリンピック招致を正式表明したのも, MICE 誘致活動の一環と考えることができる。

最近の記憶に残る MICE 誘致の成功例としては, 東京都の 2020 年オリンピック・パラリンピック招致がある。なぜ東京がオリンピック・パラリンピックの開催国として相応しいのかを述べたブエノスアイレス IOC 総会のプレゼンテーションも MICE 誘致の活動といえることができる。

このように, 昨今は日本でも国や地方など様々な立場での MICE 誘致活動が盛んに行われ, その成果も見られてはいるが, 前述のように国際競争の激化の中で日本の現状に対する様々な問題提起もなされている。中でも, 大規模一体型施設の不足や (いわゆる縦割りなど) 組織運営の問題点と併せ, MICE 分野の人材育成の問題が大きく取り上げられている。そのような状況において, 英語教育に携わる者として, 現実の教育実践を視野に入れつつどのような展開が可能であるのか, 次節以降で考察する。

2.2. MICE 産業が求める人材と英語力

このような MICE 産業に必要とされている人材はどのような英語力が求められているのだろうか。原と陳 (2012a, 2012b) は日本における MICE 人材育成の必要性を説いている。海外の MICE 産業と競争していくには MICE プロフェッショナルの育成が不可欠である。さらに, 日本において MICE の概念はまだ一般に浸透しているとは言い難い。そのため, MICE 人材養成の場

は国内にはあまり提供されていない。大学レベルで MICE 関連の授業を提供している学校は限られている。2014 年に市岡，森越が札幌の MICE 関連産業従事者に対して実施したアンケート調査と聞き取り調査によると，その多くは大学などで MICE について学んだ経験がなく正式な MICE の訓練を受けていなかった。さらに，MICE 業界では，外国語のコミュニケーションスキルの他に，プレゼンテーションや交渉する力が求められていると述べている。

2.3. MICE の典型的な英語文書：開催提案書（Bid Paper）

MICE における国際会議の誘致や誘致活動は，大きく二つの活動に分けることができる。前半は，どんな国際会議を誘致するかについてのマーケティングを行い，その都市・地域にどのような国際会議を誘致することが可能か検討し，誘致の対象となる国際会議を選定する。その後，主催者をサポートして開催決定を獲得するまでの支援活動を行うことが主な仕事となる。その中の一番大きな活動で高い英語力が求められるのは，Bid Paper（開催提案書）の作成である。Bid Paper では，開催地，開催場所の強みを前面に出し，Why-Because で開催場所としての長所を述べ，人々を説得する必要がある。場合によっては，Bid Paper を基に口頭でプレゼンテーションを行うこともある。Tokyo2020 オリンピック・パラリンピック誘致委員会がブエノスアイレスで行ったものである。市岡・森越（2014）が面接調査を実施した MICE ビジネス関係者の多くは，この説得する英語が難しい，学んでおく必要が大いにあると述べている。

後半の業務としては，このような誘致活動が成功し国際会議やイベントを誘致すると，MICE 関係者は大会の事務局として招請状，プログラム，予算書の作成，宿泊情報，交通情報の提供など，会議・イベント開催に向けより実質的な支援をする。国際会議ではこれらをすべて英語で行うことになるので，高度な英語力と運用能力を持つ人材が MICE で求められている。

このような状況の中で，大学の英語教育として何をすべきなのか。英語授業の中に，MICE の内容を取り込むことは有益なのか。もし，学生が MICE に興味を持ち，それに必要なスキルを身につけて卒業すれば，職業選択の幅が広がるのではないだろうか。このような問いに答えを出すために，大学の英語教育への導入を視野に入れ MICE についての調査を実施した。

3. 調査と結果

3.1. MICE 関連の英語教科書について

まず，日本の大学英語教育において MICE に最も関連の深い分野として，2012～2014 年の 3 年間に渡り観光英語をテーマにした大学教科書を調査した。従来観光英語のテキストの多くは，空港やホテルでの会話，ホームステイ先での会話，海外の名所巡り，買い物や道案内のように，日本人が海外に出かけて行き，そこでの会話を中心としたものが多かった。いわゆるアウトバウンド（outbound）のツーリズム英語である。しかしながら，MICE の誘致をはじめ，現在日本で重視されている観光英語はむしろ，日本に来た外国人を適切にもてなし，日本の生活や文化などを

正しく伝えようとする、インバウンド (inbound) 指向のものであろう。以下、具体的な調査結果について述べる。

調査は「大学英語教科書協会」のサイト³⁾を中心に行った。それによれば、2012年は観光英語分野で47タイトルのテキストが出版されていたが、インバウンドのものは3冊だけであった。2013年は、合計51タイトルの観光英語テキストがあり、うち7冊がインバウンドと考えられる。この年新たに出版されたインバウンド・ツーリズムのテキストとしては『English for Tourism—Basic—』(三修社)、『English for Tourism—Intermediate—』(三修社)などがある。これらは、観光英語検定の受験も視野に入れたものであるが、日本の中でツーリズム、ホスピタリティ産業で活躍できる人材育成を視野に入れたものと言えよう。2014年は、観光英語のテキストは55冊になり、中でもインバウンドのテキストは9冊に増加した。新たに出版されたものとしては『Welcome to Kyusyu, Japan』(松柏社)や『英語で学ぶ日本三選』(南雲堂)などがある。特に前者は、インバウンドの中でも特定の地域をテーマにしたものとして注目される。

このように、過去3年間を見てもインバウンド観光英語への関心の急速な高まりがみられ、この間の新刊のほぼ全てが、インバウンドのものであることは注目に値する。しかしながら、これらも一般の観光旅行に関する内容が多くを占め、MICEをはじめ、ビジネス関連の旅行を想定したものはほとんど見られない。また、サービスや接客での会話例は比較的頻繁に取り上げられるが、上述のBid Paperをはじめ、e-mailでの交渉など、実際の観光産業の現場やMICE誘致など、ビジネス場面を考慮した上で、日本人学生への英語教育に求められる課題は多い(森越他, 2013)。

以上の調査の結果、日本国内で出版された大学英語教科書のうち、MICEというテーマを取り上げたものは皆無であった。欧米やアジア諸国では、ホスピタリティおよびツーリズム教育がより広範囲で行われ、それらの教科書が多数出版されている。これらは、例えば“Event Management”、“Conventions and Conferences”など、MICE専門人材としての職能や詳しい業務内容を中心としたかなり専門性の高いものもあり、それを通常の日本の英語授業で使用するのはかなり困難である。筆者らは、概論・総括的な内容を含むものとして、Hong Kong Polytechnic UniversityのSchool of Hotel & Tourism Managementのスタッフが作成した“Tourism and Hospitality Studies: Meeting, Incentives, Conventions and Exhibitions (MICE)”⁴⁾というテキストがMICE関連の英語教育を考える上で有用と考え、今回の授業構築の上でも参考にした。しかしこれも、そのまま通常の英語授業で学生に使用するには、概念や用語彙など、その内容が専門的過ぎると考えられる。

3.2. MICE教材として利用できるウェブサイト

次にウェブ上にあるMICE関連のホームページ、動画を利用してオーセンティックな教材を作成できないか調査した。以下、各サイトを利用して作成した教材の一部を紹介すると共に、一部はAppendixに載せる。

3.2.1. 政府官庁の MICE サイト

表 3 の観光庁（Japan Tourism Agency）サイトには、多くの MICE 関連情報が英語で提供されている。MICE とは何かに始まり、政策、統計、予算などが示され MICE について包括的に学ぶことができる。このサイトは、英語の他に数ヶ国語に対応している。その中には実際に各都市、自治体が誘致活動を行う時に役立つ『国際会議誘致ガイドブック』がありダウンロードできる。このガイドブックには、開催提案書（Bid Paper）の英語版見本、誘致後に必要となる基調講演者などへの招聘状、出張依頼などの英語見本が掲載されている。これらの例で使用されている英語は専門性が高く大学の英語教材として難易度は高いが、そのアウトラインや論旨の進め方は一般の英語クラスでも参考になる。

表 2 政府官庁の MICE サイト

Title of Websites	URL
Japan Tourism Agency: Promotion of MICE Hosting and Attraction	http://www.mlit.go.jp/kankocho/en/shisaku/kokusai/mice.html
Japan National Tourism Organization: 国際会議誘致ガイドブック	http://www.mlit.go.jp/common/001043157.pdf

表 3 『MICE 関連用語集』

abstract	アブストラクト	抄録。スピーチ、講演、発表論文等の要旨を 200～500 語程度の長さにとまとめたもの。この抄録を集めたものを“abstracts”（抄録集）という。
accompanying person	同伴者	会議参加者に同行する配偶者または同伴者。“spouse”（スパウズ）ともいう。
accompanying persons' program	同伴者プログラム	主に会議参加者が会議に参加している間に同伴者を対象として企画される観光旅行や文化行事等のこと。
advance registration	事前参加登録	国際会議の開催日に先行して行われる参加登録。“pre-registration”（プレレジストレーション）ともいう。
after convention	アフター・コンベンション	会議日程終了後、または会議時間終了後に引き続いて行われる各種の行事。自由参加による周辺地域のショッピング、娯楽等の活動を含めるのが一般的。“post conference” とほぼ同意語。
agenda	アジェンダ、議題、議事日程	会議で討議されるべき事項。会議の日程を指すこともある。
announcement	アナウンスメント	国際会議の開催案内。会議等の開催計画を知らせる事前の案内。“circular”（サーキュラー）の項目参照。
association meeting	協会主催会議	協会・団体が主催する会議、大会。
audio visual (AV)	音響・映像機材	マイク、スピーカー、プロジェクターやスクリーンといった、会議で使用する音響や映像に関する機材。
banner	バナー、旗、垂れ幕	会議名やロゴマーク、テーマなどを表示した幕、旗、懸垂幕など。
banquet	バンケット、宴会	席次を決めて行われる正餐。本来は、VIP の臨席を前提とし、主催者や VIP によるスピーチを伴う。最近では広義に宴会を指す場合もある。

（『国際会議誘致ガイド』 pp.145-154）第 1 ページを示した。

このガイドブックの付録として190の語・連語からなる『MICE関連用語集』がある(表3)。ここに掲載されている語彙は比較的平易で、MICEが大学英語教材として利用できる可能性が高いことがわかる。

表4は『MICE関連用語集』にエントリーされている語・連語をJACET8000でレベル別に分類したものである。JACET8000のLevel1からLevel4までの語彙が約73%を占めていることがわかる。つまり『MICE関連用語集』に表示されている語の4分の3は基本4,000語内の語彙で構成されていることを示している。このことからMICE関連用語は大学生にとって特段難しくない用語であると言える。

表4 『MICE関連用語集』とJACET 8000の語彙比較

	J Lv 1	J Lv 2	J Lv 3	J Lv 4	J Lv 5	J Lv 6	J Lv 7	J Lv 8	Other
Token	90	52	35	62	8	10	2	6	63
% of token	27.43%	15.85%	10.67%	18.90%	2.43%	3.04%	0.60%	1.82%	19.20%

注：複数語からなる用語があるため、用語190エントリーで単語総数は328語となっている。

3.2.2. コンベンション・ビューロー、観光協会のMICEサイト

各都市のコンベンション・ビューロー、観光協会、商工会議所などが制作、運営しているサイトである。東京、横浜、名古屋、京都、札幌など大都市のサイトは日本語、英語を基本に数ヶ国語に対応している。そこには、如何に各都市が国際会議、催事の開催場所として適しているかが、Why-Because形式を用いて説得力ある文章で書かれている。その他に、周辺観光地、宿泊、交通の便、立地、文化、歴史など各都市の特徴が英語で記述されている。一例として東京と札幌のサイトを図3に示す。

東京観光財団(Tokyo Convention and Visitors Bureau)のMICEサイトでは、Why Tokyo Now? Facts & Figures, Transportation, Area Guide, Must See, City Highlightsが丁寧に紹介されている。コンベンション施設紹介では、会場の他にTransportation, Hotels, Unique Venues, Restaurantsの紹介もある。この施設紹介はさらに詳細な情報へと進むことができる。

これらの情報は、筆者らが以前に大学の英語クラスで行った「Hometown Project」の課題で学生が収集した情報と同じものである。それは学生が自分の故郷の情報(人口、観光地、自然、特産品)を集め、故郷紹介のプレゼンテーションをするという課題であった。学生が集めた情報と同じ情報がこのサイトに集約されていることがわかる。

それに加えて、これらのMICEサイトでは、各都市、地域の基本情報の他に、何故その場所が国際会議やイベントの開催場所にふさわしいかのWhy-Becauseが大きく掲げられている。例えば、札幌のサイトもSapporo's 10 selling pointsとして札幌の長所を前面に押し出した構成となっている。そのサイトは読者に地域の優位性を強く印象づけようとする努力が見られる。

海外のMICEサイトを見ると、この傾向は一層強く説得力を増してくる。Taiwan MICEのサ

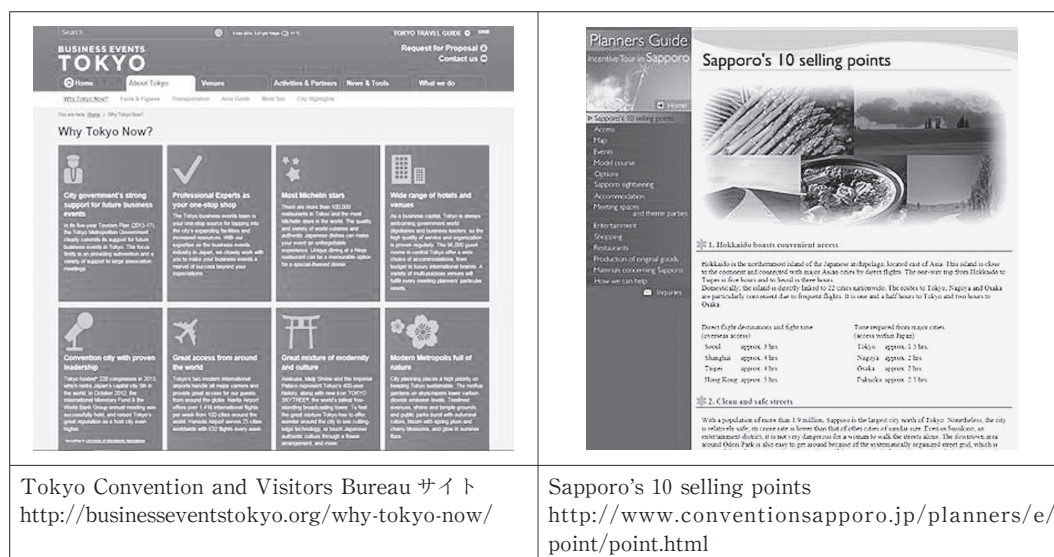


図3 東京・札幌コンベンション・ビューロー MICE ウェブサイト

イトでも, Meet Taiwan, Why Taiwan, Introduction of Taiwan, Taiwan MICE, Experience Taiwan, Plan your event など充実した内容となっている。

Singapore MICE サイトは, Why Singapore, Plan your event, Events Calendar のタイトルを並べている。The Singapore Difference を強調し The perfect business events location をアピールしている。これらの海外 MICE サイトは日本のものより画像や動画を多く取り入れ魅力的な構成になっている (図4)。

これらのサイトは英語も平易でリーディングの教材として適切である。各サイト, 各都市の特色, 違いを読み取り要旨をまとめる練習に利用できる。また, PBL (Project-Based Learning, 課題解決型学習) の材料としても有効に利用することも可能である。例えば, 2都市のサイトに書かれていることを比較して, どちらを国際会議開催地と選ぶのか, それはどうしてなのかを調べ発表するという課題を作成する。学生は英語サイトを読み, その内容を理解し, 誘致に賛成の都市について Bid Paper を書く。その Bid Paper を基にプレゼンテーションやディベートをするという一連の作業の基となる情報をこれらの MICE サイトは提供している。MICE サイトを利用したふたつのリーディング課題ワークシート, 'Internet Search: MICE in Singapore' と 'Internet Search: MICE in Fukuoka and Sapporo' を Appendix (1)(2)に載せる。表5には日本国内の主なコンベンション・ビューローのウェブサイトをまとめた。

3.2.3. Tokyo2020 ウェブサイト

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が運営するサイトで日本語, 英語, 仏

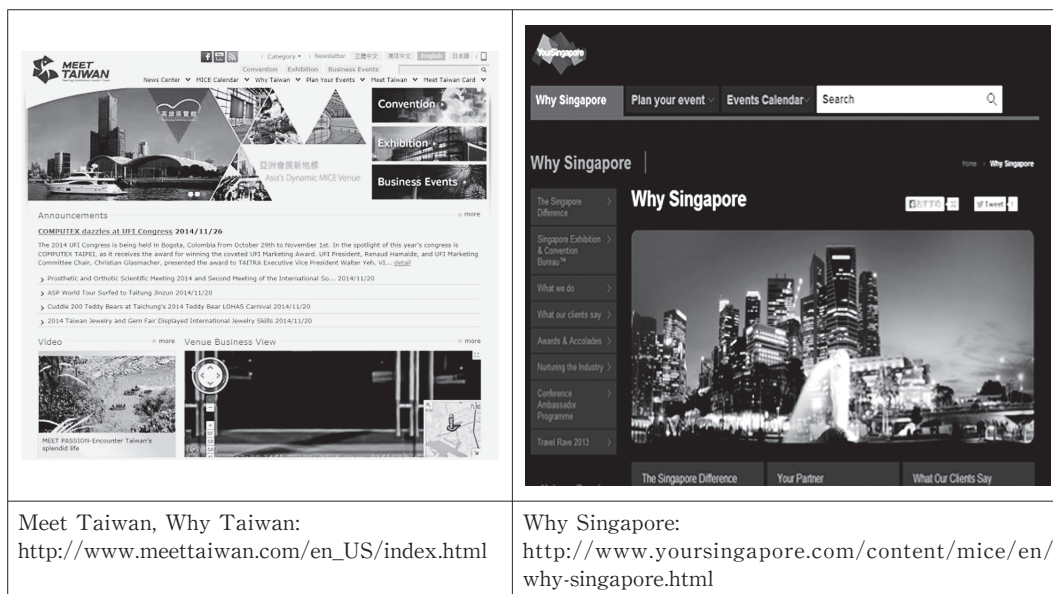


図4 Singapore・Taipei コンベンション・ビューロー ウェブサイト

表5 日本国内の主なコンベンション・ビューローのウェブサイト

Tokyo Convention and Visitors Bureau	http://www.tcvb.or.jp/en/office.html
Kyoto Convention Bureau	http://www.hellokcb.or.jp/eng/index.html
Yokohama Convention and Visitors Bureau	http://www.welcome.city.yokohama.jp/eng/convention/
Sapporo Convention Bureau	http://www.conventionsapporo.jp/
Fukuoka Convention and Visitors Bureau	http://www.welcome-fukuoka.or.jp/english/

語に対応している。2013年このサイトでは、いかに東京が2020年のオリンピック・パラリンピックの開催地として有利なのかを前面に出した構成になっていた。残念ながら開催国として指名された後は開催に向けた取り組みが前面にだされ Why-Because の誘致関連サイトはアーカイブになってしまった。

2013年当時のサイトは東京開催の理由を、‘10 Reasons How’として紹介していた。この内容もリーディング、プレゼンテーション、ディスカッション教材として最適である(表6)。まず、10の理由を読んで要旨をまとめる。その中から優先順位をつけて自分が一番強いと思う理由を三つ選び、パラグラフを書く。次に、書いたパラグラフを基にプレゼンテーションのスライドを作成する。このようにして読み、書く、発表するという一連の統合的タスクを自然に創り出せるのである。筆者らが作成したライティングとプレゼンテーションのためのワークシート英語教材は Appendix(3)に載せた。

Tokyo2020の誘致活動については、大会組織委員会がブエノスアイレスで行った英語プレゼンテーションも忘れてはならない。プレゼンテーションコーチであるマーティン・ニューマン氏に

表 6 Tokyo 2020 '10 REASONS HOW'

01	Tokyo is one of the world's safest and most welcoming cities	06	The Games will take place at the heart of world-leading cuisine, culture, entertainment, leisure and tourist attractions
02	Tokyo has world-class accommodation, transport, infrastructure and hosting experience	07	Japan's innovation is symbolized in its landmark new Olympic Stadium
03	Tokyo enjoys the largest GDP of any city in the world with a USD 4.5 bn cash Games fund in the bank, and full government financial guarantees	08	Tokyo is a hub of digital technology, already benefitting the international sport communities
04	The athletes and the entire Olympic family will benefit from an ultra-compact plan with 85% of venues within 8 km of a Village fully integrated in city life	09	Tokyo is the capital of the future, which gets global trends in everything from fashion to technology
05	The Games will become a party with 35 million people, with a huge passion for all sports	10	Japan is home to a youth culture that influences and inspires the world

Retrieved from <http://tokyo2020.jp/en/> on March 25, 2014

ついて練習を重ねた佐藤真海選手や太田雄貴選手のスピーチは伝える英語，訴えかける英語の良い手本になるだろう。これらのスピーチを視聴，分析して優れている点を挙げ，スピーチ・プレゼンテーションの秘訣を話し合ってもよいだろう（表 7）。

表 7 Tokyo 2020 関連 ウェブサイト

Title of websites	URL
Tokyo 2020	http://tokyo2020.jp/en/
Presentation by Tokyo, Japan 佐藤真海 (Mami Sato) 太田雄貴 (Yuki Ohta)	https://www.youtube.com/watch?v=frLZeeU9760 (第 125 回 IOC 総会，英語による 45 分のプレゼンテーション) 上の動画サイトの 5 分 26 秒から開始 上の動画サイトの 30 分 10 秒から開始

3.2.4. MICE がテーマの動画

まず，YouTube で MICE 関連の動画を検索した。MICE ではヒットがあまりないが，Meeting and convention planner で検索するとヒットする。その中のひとつを例に説明する。

この動画サイトでは，「イベント・プランナーの一日」と題してその職務を概観している。MICE ビジネスにかかわる語彙として，convention, conference, event, free lancer, public relations, などを聞き理解することになる。それと同時に，MICE ビジネスの基本について理解を深めることができる。

英語のナレーションはリスニング練習用教材として利用できる質を有している。画面右下にある字幕表示機能をオンにすることにより音声を聞きながら目で内容を読むことができる。筆者らはこの字幕と音声を利用してディクテーション問題を作成した。ふたつのパラグラフからなる



図5 Meeting Planner Careers Overview

236語の文章である。1文は13語から16語で構成されている。リーダビリティをFlesch-Kincaidで計るとGrade Level: 8.1, グレードレベルは8年生(中学2年生)である。

また、このパラグラフをJACET8000で計ると、レベル1から5までの語彙が216語、全体の91%を占めた。レベル5の語が8, レベル6, 7の語はなかった。レベル5と8の語を表8に示す。

表8 MICE 動画の語彙分析

(レベル5)	(レベル8)	(Other)
brochure	certify	freelancers
click		last-minute
deadline		
headache		
license		
planner		
tourism		
willingness		

1) Listen to Meeting Planner Careers Overview on YouTube and fill in the blanks.

Do you love to plan events, from (parties) to conference? If you have had a (head) for details and the willingness to (cope) with a fair amount of stress, you might consider a (career) as a meeting and convention planner.

“Let’s talk about the fall M.R.I. (conference) in Chicago and go through the check list.” Some meeting and convention planners (work) for organization that offer event planning as a (service). They might also be one of a larger (company) that handles public relations or (image) consulting or an agency that handles (tourism) for a city, or they might work within a big (corporation) to plan sales and incentive meetings and training seminars. Meeting and convention planners also work as (freelancers), networking their way to contracts from event to event, (charging) a commission or a flat fee.

図 6 Listening 教材例

注：ディクテーションの後には、語彙の練習と Comprehension Questions をつけたがここでは省略する。

3.2.5. Bid Paper（開催提案書）ガイドライン

Bid Paper はライティングの PBL（Project-Based Learning，課題解決型学習）として魅力ある素材である。Bid Paper 作成のガイドラインに従い学生は資料を集め説得力ある提案書を作成する。この課題の一番の目的は「何故この都市が開催地としてふさわしいか」を強く示すことである。具体的な書き方について、図 7 の IALLT（International Association for Language

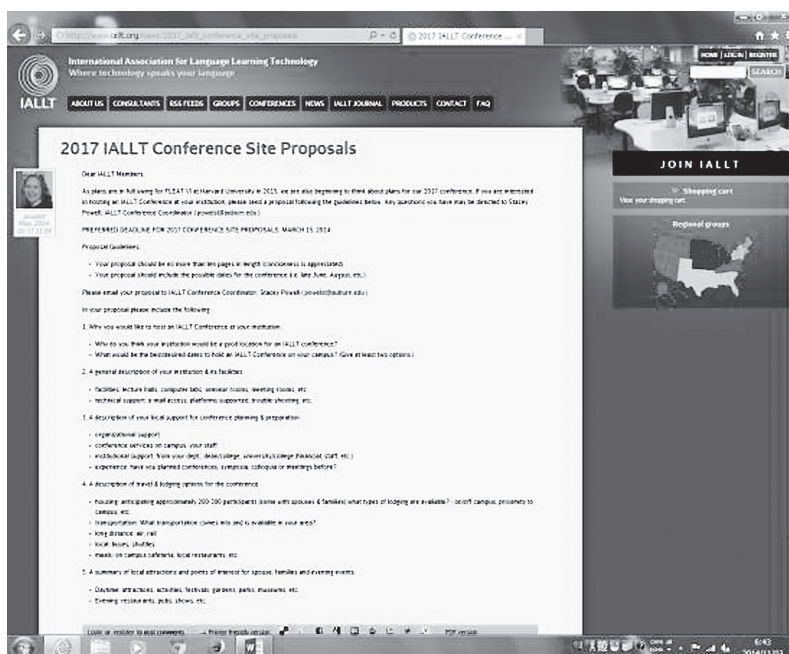


図 7 International Association for Language Learning Technology
2017 IALLT Conference Site Proposals
http://www.iallt.org/news/2017_iallt_conference_site_proposals

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. General descriptions of your city
Facilities/technical support (e-mail access, platforms supported, trouble shooting. etc.)2. A description of your local support for conference planning and preparation (organization support, conference service, institutional support, experience: “have you planned conferences before?”)3. A description of travel and lodging options (Housing, transportation, meals)4. A summary of local attractions and points of interest for spouses, families and evening events.5. Financial support6. Other information (weather, visa, cashing information, etc.) |
|---|

図8 2017 IALLT Conference 開催提案書ガイドライン

Learning Technology) というアメリカの学会が2017年度の年次大会開催場所を募集し、Bid Paper の応募を求めているサイトが参考になる。このサイトでは、Bid Paper 作成時の重点項目が述べられている。図8にそのガイドラインを示す。

このガイドラインは、学生が自分の提案書を作成する時の手がかりとなるはずである。また、提案書を基にプレゼンテーションに発展させることができる。この一連の作業では資料収集スキル、英語を読み書くスキル、そしてプレゼンテーションスキルが要求される。それに加えて、国際会議を誘致するという目的のために、読む人、プレゼンを聞く人々を説得しなければならない。そのために、何をどのように提示して話を進めていくか学生は深く考えなければならない。

4. 考 察

MICE 関連の教授用資料を調査した中でわかったことは、「観光英語」と称している大学の教科書に MICE の内容は入っていないことである。その多くは、海外旅行の場面(アウトバウンド観光)を想定した会話中心の教材であり、最近ではインバウンド観光に重点を置いた、来日外国人観光客をもてなし、日本の社会や文化を説明するような教材が増加している。しかしながら、政府や各自治体が現在力を入れている MICE の概念を、大学英語教育にも積極的に取り入れるべきではないだろうか。今回の調査を通して明らかになった MICE 導入の利点は三つある。

第一に、MICE の内容およびそこで使われる英語と、大学で教える英語に大きな違いがないことである。MICE で使われている語彙は平易で JACET4000 レベルの語が9割を占めた文章もあった。MICE の内容、場面や Convention Planner の活動などを話題として通常の英語授業に導入しても、さほど違和感なく学生は受け入れると思われる。

第二に、MICE 関連ウェブサイトには英語による情報が豊富に掲載されていることである。国際会議開催誘致のための理由を、Why-Because の形式で論理立てて述べている。これらのウェブページを読むことで学生の英語力が向上するとともに、読む人を説得することへの理解が深まると期待される。

最後に、読み手を説得するという目的で書かれる Bid Paper の作成である。MICE では、国際会議やイベント誘致のために Bid Paper の作成が必須である。このタスクは学生の相手を説得す

る力を養い、論理的思考を刺激するはずである。説得する強い理由を提示して、グローバルなビジネス場面での交渉を行う。そのためには、高度な英語の運用能力、コミュニケーション能力、論理的思考、交渉する力が必要となる。MICE は、これらの多様な能力開発のためのタスクと場面を違和感なく自然に提供してくれる題材である。

5. ま と め

これまで見てきたように、MICE に関連する概念や、その推進・誘致を視野に入れた内容を大学の実践的な英語クラスに導入することには様々な意義が認められる。今後の日本や、特に筆者らの地元である北海道は、観光産業が地域発展の鍵を握ることは間違いない。中でも MICE イベントは、その経済効果、ビジネス・イノベーションの創出、国際的なブランドイメージの向上など、ますます注目を集める分野であるが、国際的な競争が激しさを増す中、日本における取り組みおよび社会的な認識はまだ不十分である。

このような状況の中で大学英語教育にかかわる者として MICE を取り入れた授業を展開することで、MICE を知りその認識を高める機会を提供すると共に、グローバルに通用する英語力、英語コミュニケーション能力、交渉力を持つ人材を少しでも輩出することは大学英語教育の社会貢献としても意義あることになるであろう。

国内ではほとんど出版されていない MICE 関連の英語教科書の代わりに、オーセンティックな資料としてウェブサイトにある情報を利用することは意義のあることである。英語スキルの訓練の他に、MICE 教材を用いることにより学生が説得力のある英語、論理的思考、交渉力をさらに向上させることが期待される。また MICE が学生に職業選択の具体的な動機付けとなるであろう。学生の将来を見据えたトピックとして英語クラスの活性化につながる MICE は有益であると考える。

注

- 1) 本論は、AILA2014 (AILA World Congress 2014, Brisbane, Australia. 2014 年 8 月)、JACET 北海道支部 2014 年度第 2 回研究会 (2014 年 11 月北海道江別市)、並び JALT2014 (第 40 回全国語学教育学会年次国際大会・教材展示会。2014 年 11 月茨城県つくば市) での発表の一部を基にしている。
- 2) アムステルダムに本部を置き、国際会議・行催事の促進を図る一環として国際会議の開催状況を収集・発信している国際機関。(http://www.iccaworld.com/)
- 3) 現在日本で大学向けの英語教科書を出版している 13 社 (2012 年は 14 社) の出版社が共同で運営するもので、様々な分野の教科書の一括検索などが可能である。(http://daieikyo.jp/aetp/)
- 4) 本書は、Manual on Elective I - Meetings, Incentives, Conventions and Exhibitions (MICE) というコースの教科書であり、以下よりダウンロード可能。http://www.edb.gov.hk/attachment/en/curriculum-development/kla/pshe/nss-curriculum/tourism-and-hospitality-studies/mice%20english.pdf

参考文献

- 原忠之・陳金歆. (2012a). 「Boys, be Studious! (第1回) 米国における MICE・イベント経営・ホスピタリティ, 人材育成の内容と戦略分析 (前編)」. 『展示会と MICE 5』, 74-76.
- 原忠之・陳金歆. (2012b). 「Boys, be Studious! (第2回) 米国における MICE・イベント経営・ホスピタリティ, 人材育成の内容と戦略分析 (後編)」. 『展示会と MICE 6』, 54-56.
- 市岡浩子・森越京子・荻麻里子. (2014). 『札幌における MICE 教育カリキュラム構築に向けた調査研究および札幌 MICE カレッジの実験的検証に関する実践報告書』. 札幌市役所への委託研究報告書.
- 観光庁. (2013a). 「我が国の MICE 国際競争力の強化に向けて～アジア NO.1 の国際会議開催国として不動の地位を築く～(MICE 国際競争力強化委員会最終とりまとめ) 参考資料」. <https://www.mlit.go.jp/common/001006764.pdf> (2014年12月10日アクセス)
- 観光庁. (2013b). 「我が国の MICE 国際競争力の強化に向けて～アジア No.1 の国際会議開催国として不動の地位を築く～MICE 国際競争力強化委員会最終とりまとめ」. <http://www.mlit.go.jp/common/001014471.pdf> (2014年12月10日アクセス)
- 札幌市. (2012). 「札幌 MICE 総合戦略～札幌 MICE の現状と今後5年間の方向性～」. https://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/news2/documents/00_ikkatsu.pdf (2014年12月8日アクセス)
- 森越京子・尾田智彦・佐々木勝志・田中洋也・上野之江. (2013). 「日・韓ホテルの英語Eメール返信について — 教材作成に向けての言語データ分析 —」. 『北海学園大学学術論集』, 156号, 29-46.
- Morikoshi, K, Oda, T., & Ueno, Y. (2014). Teaching English for the MICE Industry in Japan. Annual Report of JACET-SIG on ESP, 16, 33-44.

APPENDIX

(1) Internet Search: MICE in Singapore

1. Access “Why Singapore” page.

<http://www.yoursingapore.com/content/mice/en/why-singapore.html>

2. Click “The Singapore Difference”

<http://www.yoursingapore.com/content/mice/en/why-singapore/the-singapore-difference.html>

Five Core Reasons

1	The ideal business partner	支援を与える。支援する	Reason
2			
3			
4			
5			

Choose 2 points that you think are most important.

3. Click “Plan your event” tab, then click “Event Venue.”

Click 7 buttons representing each venue. Write what sorts of events are suitable for each venue.

	Name of Event venue	Suitable event
1	Changi Exhibition Centre	Medical conference of 1,000 participants
2		
3		
4		
5		
6		
7		

Which venue would you recommend and why?

(2) Internet Search: MICE in Fukuoka and Sapporo

1. Access "Fukuoka Convention and Visitors Bureau" English page

<http://www.welcome-fukuoka.or.jp/english/>

Then Scroll to the bottom, and click "12 Reasons for a Successful Congress " Button below "Convention" tab.

Activity 1: Read the 12 reasons, and decide which is more unique to Fukuoka.

Activity 2: Choose three reasons you think are most important, and prioritize them.

2. Access "Sapporo Convention Bureau" English page

<http://www.conventionsapporo.jp/why/why.html>

Then click "MICE Planner's Guide" tab, select "English" language, and click "Sapporo's ten selling points" button on the right.

Activity 1: Read the 10 points, and decide which is similar to Fukuoka, and which is more unique to Sapporo.

Activity 2: Choose three points you think are most important, and prioritize them.

3. Debate "Fukuoka" vs. "Sapporo"

3. 1. Form two groups of 3-5 students representing Fukuoka and Sapporo.

3.2. Both groups give presentations promoting each city.

3.3. Audience students decide which city is more attractive to hold a certain convention.

3.4. Another pair of groups promote a city they like.

Promote the city.

Audience students judge the more attractive venue.

(3) 「Writing Worksheet Using *Tokyo2020*」 Writing 教材 (Productive Activity)

Objectives:

- 1) Read an example below and write a bid paper on “Why this city is good for an event.”
- 2) Learn strategies to present an opinion, providing information and advantages, and how to make a convincing presentation.

1) Read “10 Reasons How” on *Tokyo 2020* homepage. This site describes the reasons and advantages for the Olympics in Tokyo. Read each reason and write its summary.

<http://tokyo2020.jp/en/>

10 REASONS HOW

01	Tokyo is one of the world’s safest and most welcoming cities	06	The Games will take place at the heart of world-leading cuisine, culture, entertainment, leisure and tourist attractions
02	Tokyo has world-class accommodation, transport, infrastructure and hosting experience	07	Japan’s innovation is symbolized in its landmark new Olympic Stadium
03	Tokyo enjoys the largest GDP of any city in the world with a USD 4.5bn cash Games fund in the bank, and full government financial guarantees	08	Tokyo is a hub of digital technology , already benefitting the international sport communities
04	The athletes and the entire Olympic family will benefit from an ultra-compact plan with 85% of venues within 8 km of a Village fully integrated in city life	09	Tokyo is the capital of the future , which gets global trends in everything from fashion to technology
05	The Games will become a party with 35 million people, with a huge passion for all sports	10	Japan is home to a youth culture that influences and inspires the world

<http://tokyo2020.jp/en/> on March 25, 2014

Summary of 10 Reasons How

1	Tokyo is one of the world's safest and most welcoming cities.	6	
2	Tokyo has world class accommodation, transport, infrastructure, and hosting experience.	7	
3		8	
4		9	
5		10	

2) Among the 10 reasons **choose the three strongest reasons** and write their keywords.

例	Safe Welcoming city	Tokyo is one of the world's safest and most welcoming cities.
例	World-class accommodation, transport, infrastructure hosting experience	Tokyo has world-class accommodation, transport, infrastructure, and hosting experience.
1		
2		
3		

Prioritize the reasons. Rank the reasons in order from most important to least important.

3) Finally, write each support (examples, details, explanations etc.) using your own ideas and information.

例	Safe Welcoming city	Tokyo is one of the world's safest and most welcoming cities.	For example, in Tokyo people can enjoy nightlife until late at night. You can see Koban, where policemen will take care of citizens and tourists who are in trouble.
例	World-class accommodation, transport,	Tokyo has world-class accommodation, transport,	

	infrastructure hosting experience	infrastructure, and hosting experience.	
1			
2			
3			

4) Using the table you made in 3), write a paragraph about “Why Tokyo is strong to host the Olympics.”

I would like to write about why Tokyo is the best place to hold the Olympic Games in 2020. I have 3 reasons, (), (), and ().
The first point is ().

(参考) YouTube で Tokyo2020 誘致のプレゼンを見てみましょう。

<http://www.youtube.com/watch?v=frLZeeU9760>

YouTube Mami-Sato-Presentation-for-Tokyo2020 で検索してみましょう。

Presentation Assignment

Objective : 1) Present own opinion orally.

2) Learn presentation strategies, such as how to organize an outline.

5) Let's give a presentation based on the paragraph you wrote.

5.1) Create your slides: Write 3 or 4 lines per a slide. Use keywords and icons. In your presentation, talk and present your supporting information to the audience while looking at those keywords.

① Introduction: Explain the topic of your presentation.

Tell three reasons why Tokyo is strong to host the Olympics.

② Body: Advantage 1

③ Body: Advantage 2

④ Body: Advantage 3

⑤ Conclusion: Present again the three advantages. Your last sentence must be impressive and attractive to the audience.

5.2) Give your presentation in class using the slides above.